

III 開発教育指導者研修(実践編) 第2回

■ 開催概要

- ◆ 日時 : 2012年7月21日(土) 13:00~17:13、22日(日) 10:00~15:30
- ◆ 場所 : なごや地球ひろば2階 セミナールームA
- ◆ 参加者数 : [1日目] 受講者38名、JICA9名、NIED4名、オブザーバー2名、合計53名
: [2日目] 受講者39名、JICA8名、NIED4名、オブザーバー2名、合計53名
- ◆ ファシリテーター : (特活) N I E D ・ 国際理解教育センター 伊沢令子

■ 今回のねらい

- ① 開発教育・国際理解教育の目的を確認し、この教育で扱う5つの柱について理解する。
- ② 持続可能な社会の実現にとって不可欠な「環境」と「貧困」の学び方を学ぶ。
- ③ 「よりよい未来作りに関わる力」を、参加型を通して育てる具体的な方法を体験的に共有する。

■ 開催の様子



アイスブレイキング「仲間さがし・仲間こわし」



世界の国や人と肯定的に出会おう！世界クイズを解く



世界との関わりが全くなかったら何が起きるか(派生図)



貧困解決のための手立てに関する各自が読んだ資料を紹介

■ プログラムの内容

● セッション1 「同一性と多様性」 7/21 13:00-15:28

1. 主催者あいさつ／ファシリテーターより第2回のねらいの確認 13:00-[10]
 - ◇ 司会あいさつ、社会体験研修生（教員）・JICA推進員の紹介、研修の全体像・第2回のねらいの確認を行う。
 2. アイスブレイキング1「仲間さがし・仲間こわし」 13:10-[13]
 - ◇ 同じ答の人と集まる。→質問：①好きな四季、②夏と言えば（一般的な答で）、③夏祭りと言えば（多様な答で）。
 3. アイスブレイキング2「3つのわたし1つはウソ（カードバージョン）」 13:23-[24]
 - ◇ 裏返した自己紹介カードの中から1人3枚ずつ取り、質問内容に対する答を用紙に書き、うち1つはウソを書く。グループで、1人ずつ3つのわたしを紹介し、その後どれがウソか当てる。
 4. 第1回ふりかえり 13:47-[25]
 - ◇ 第1回の記録を読み、印象に残った箇所に下線を引き、グループで発表し合う。
 5. 開発教育・国際理解教育が扱う5つの柱 ミニレクチャー 14:12-[4]
 - ◇ ①多様な人・多様な国と肯定的に出会う、②人の多様性・同一性を理解する、③自分・他者・社会・未来のつながりに気づく、④スキル・ビルディング（自己肯定感、多様性受容力、コミュニケーション力、参加・協力など）、⑤共に知り・共に越える人類共通の課題（環境・人権・開発・共生・平和）について説明する。
 6. 世界の国や人と肯定的に出会おう！世界クイズ 14:16-[31]
 - ◇ 8カ国（ガーナ、チャド、クロアチア、インドネシア、フィリピン、ベリーズ、ラオス、イタリア）のうち1グループ1カ国を担当し、クイズの理解した後、全体で1つのクイズの出題、答え合わせ、解説を行う。
 7. グループ替えと一言自己紹介 14:47-[10] …「住んでみたい国とその理由」
 8. 多様性の中の同一性をさぐろう！ 14:57-[24]
 - ◇ A「わたしのいいところ／なりたいわたし」、B「嬉しいとき／悲しいとき／人からされて嫌なこと」、C「自国やこの世界について誇りに思うこと／残念に思うこと」のうち1グループ1つ担当し、各自その答を考えた後、感じたこと、気づいたことを共有し、そこからわかったことをまとめる。
 9. セッション1のふりかえり 15:21-[8]
 - ◇ ファシリテーターのコメント…A～Cの問いかけは、すべて「多様性の中の同一性」について考え、気づくものである。Aは一人ひとり必ずいいところがある、Bは誰にも心の同一性がある、Cはどの国にも両面ある。
 - ◇ 多様な私たちが、国や人とよりよい関係を築くために、役立つこと、大切なこと、できることをグループで共有する。
- 休憩 - 13min

● セッション2 「わたしとあなた 地域と世界 今と未来のつながり」 7/21 15:42-17:03

1. グループ替えと一言自己紹介、セッション2の説明 15:42-[6] …「この夏私が楽しみにしていること」
2. 教室の中の世界探検 15:48-[12] →[成果1](#)参照
 - ◇ この部屋の中にある世界とつながりのあるものできるだけ多く探し用紙に書き出す。1番多いグループが発表。違う種類のつながりがあるグループから追加発表を行う。
3. 鎖国ゲーム 16:00-[22] →[成果2](#)参照
 - ◇ 世界との関わりがなくなったら、どんなことが起きるか、グループで、派生的に考え、模造紙に書き出す。回し読みで共有する。感じたこと・気づいたことをグループで共有し、全体で発表する。
4. 世界のSOSに耳を傾ける クイズで出会った国が大変だ！ 16:22-[23] →[成果3](#)参照
 - ◇ クイズで担当したグループに戻り、その国の課題が書かれたシートを読み、ポイントを整理し、全体で発表する。
5. なぜ世界のSOSに耳を傾げるのか！？ 16:45-[20] →[成果4](#)参照
 - ◇ SOSをほっておく＝課題を解決しなかったらどうなるか、グループで派生的に考え、模造紙に書き出す。ギャラリー方式で共有する。わかったこと、いえることをグループでまとめ、全体で発表する。

6. ふりかえり・事務連絡 17:05-[8]

- ◇ グループで「今日わたしが学んだこと」を共有する。JICA中部からなごや地球ひろば体験プログラムなどについて連絡を行う。

● セッション3 「共に考え共に越える課題『環境』をどう学ぶ!？」 7/22 10:00-12:08

1. JICA TIME 10:00-[27]

- ◇ 相互依存についてのDVDを視聴する。開発教育支援メニュー活用術、Find the Link、なんとかしなきゃ!プロジェクトなどを説明する。

2. グループ替えと第2回のねらいの再確認 10:27-[7]

3. アイスブレイキング「非言語コミュニケーション」 10:34-[6]

- ◇ グループの中で、非言語体験として様々な表情をし合う。「環境と言えば〇〇を思い起こす」で一言自己紹介を行う。

4. 環境問題ってどんな問題、何が問題!? 10:40-[9]

- ◇ 環境問題で思いつくものをグループでできるだけ多く出し合う。一番多く出したグループが全体で発表する。

5. 環境に関して行っている良い行い悪い行い 10:49-[5]

- ◇ 各自の良い行い、悪い行いを一つずつグループで発表する。
- ◇ ファシリテーターのコメント…環境教育は良いことが増えていくことをめざす教育である。

6. 地球環境クイズ4種類 10:54-[32]

- ◇ ペアで、2つのテーマ（生物・エネルギー編、ゴミ・食べもの編）のクイズに答え、解答・解説で理解し、一番驚いたことをグループ内で発表共有する。さらに詳しい4つのテーマ（身近な生き物、エネルギー、資源・ゴミ、食べ物）に関する資料を1人1つのテーマ分を読み、資料のポイントをグループ内で発表共有する。

7. 地球の持続可能性を阻んでいるものとその根柢にある人々の意識 11:26-[22] →成果5参照

- ◇ 各自、地球環境の持続可能性を阻んでいるものや各環境問題の原因だと思えるものを付せん紙に書き出し、「氷山の一角モデル」に当てはめて、模造紙に整理する。回し読みにより全体で共有する。

8. 変化は可能! ~1人の100歩<100人の一歩~ 11:48-[18] →成果6参照

- ◇ 持続可能な社会にシフトするために役立つ情報/価値観/行動を模造紙に書き出す。回し読みにより全体で共有する。

9. セッション3のふりかえり 12:06-[2]

- ◇ グループで、感じたこと、気づいたことを共有する。

- 休憩 - 62min

● セッション4 「共に考え共に越える課題『貧困』をどう学ぶ!？」 7/22 13:10-17:30

1. グループ替えと一言自己紹介 13:10-[5] …「卵の好きな食べ方」

2. セッション3の補足 13:15-[8]

- ◇ 資料「持続可能な環境を築くためのポイント」をもとに、物質循環、生物多様性、有限性、低炭素の概念を説明する。

3. 人権を学ぶ目的の説明 13:23-[2]

- ◇ 人権を学ぶ目的についてファシリテーターが説明する。…「人権とは何かを自分事として理解し、人権を侵害されている他者に共感的になり、自分や他者の人権のために積極的な行動がとれるようになること。「貧困」は大きな人権侵害である。」

4. 人はなぜ貧困に陥るのか①~飢餓の背景を通して貧困の原因を知る~ 13:25-[23] →成果7参照

- ◇ 5種類1セットでグループに配られた飢餓に関わる写真（人物）のうち各自1枚を見て、状況を想像し伝え合う。その飢餓の状況と背景の解説を読みグループで共有する。貧困の原因となることを考え、ポップコーン方式により全体で共有する。

5. 人はなぜ貧困に陥るのか②～パーム農園の児童労働を通して構造的貧困を知る～ 13:48-[10]

◇ パーム椰子のプランテーションで働くミーナの物語を各自読み、グループで読んだ感想を共有する。

6. 「1日2ドル（160円）以下の暮らし」と貧困の特徴 13:58-[16] →成果8参照

- ◇ ファシリテーターのレクチャー…1日2ドル以下で暮らしている人が世界で4割。8人に1人は十分な食糧がない。5人に1人は衛生的な水にアクセスできない。
- ◇ 1日2ドル以下の暮らし＝貧困はどんな生活か、派生的に具体的に考え、模造紙に書き出す。
- ◇ 貧困の悪循環カードを因果関係がつながるように並べてみる。

7. 貧困・飢餓についてのビデオ視聴 14:14-[22]

◇ 地球データマップ「飢える国・飽食の国」をネットで視聴する。

8. 貧困の悪循環から脱するために必要なもの 14:36-[17]

◇ 「ミーナを貧困から救うにはどうしたらよいか」、「貧困の悪循環を切るためにどこにくさびを打ったらよいか」グループで分担して考え、用紙に書き出す。分担チームがグループでアイデアを発表し、追加のアイデアを提案し合う。

9. 貧困解決のための多様な手立て 14:53-[17]

◇ 1人1つの手立てに関する資料（①フェアトレード、②マイクロクレジット、③ビッグイシュー、④MDGs、⑤カカオ農園の児童労働をなくすための方法）を読み、グループで自分の資料のポイントを共有する。

10. 全体ふりかえり・事務連絡 15:10-[20]

- ◇ 貧困解決のために私にできること3つ+第2回の感想をグループで共有する。
- ◇ 配付資料の入手方法の説明、提供した教材情報の補足、JICA中部のイベント案内などを行う。

■ 主な成果物

● 成果1：教室の中の世界探検（ブレインストーミング）

<最多グループによる発表内容>

机、椅子、電気、カーペット、ガラス、紅茶、珈琲、ケータイ、洋服、紙、ピアス、ペン、ホワイトボード、ネックレス、旗、ボールペン、靴、時計、水筒、ハンカチ、コスメ、壁、鞆、下着、パソコン、プロジェクター、スカーフ、言葉、磁石、情報、学習内容、好奇心

<追加のあるグループによる発表内容>

ワンピース（アニメ）、エスニックもの、給食（学校の場合）、デジカメ、民芸品、空気（黄砂）、友だち、キャラクター（ディズニー）、ブランド（ポールスミス）、マテ茶、JICA、インターネット、我々の気持ち、海外旅行に行く夏の予定、ガーナとセントビンセントの空気をまとった人

● 成果2：鎖国ゲーム「世界との関わりが全くなかったら」（派生図）

<悪い面として挙げられた主なもの>

- ◇食料不足 ◇車を作る材料がなくなる ◇オリンピック不参加 ◇情報が途絶える
- ◇石油ストップ ◇海外旅行に行けない ◇失業者が増える ◇教育レベルの低下
- ◇安いお店がなくなる ◇文化が画一化する
- ◇独裁！？ ◇科学の発展がなくなる
- ◇娯楽（音楽・映画）が減る ◇物価が高騰する
- ◇電気が確保できない ◇略奪・内紛
- ◇他国からの援助・支援が受けられなくなる

<良い面として挙げられた主なもの>

- ◇米を食べる人が増える ◇着物復活
- ◇質素な食生活（肥満防止） ◇自給自足が増える
- ◇一次産業が復活 ◇独自文化が発展する
- ◇英語を勉強しなくてよい ◇感染症が減る



● **成果3**：世界8カ国の多様性を表すクイズ・解答とその国のSOS（課題）のまとめ

<p>ガナ</p> <p>カカオの果実を採る?</p>	<p>70747</p> <p>70747男性の平均身長は185cm以上!!</p>	<p>チリ</p> <p>圧倒的森林は動物を禁止!?</p> <p>60時間の夜</p>	<p>イボネ</p> <p>「カンクン」はイボネ語! 意味は「森の人」</p> <p>フン オン</p>	<p>ベリーズ</p> <p>「アトス」はマヤ語で「水」と意味。マヤ語と同じ。</p>	<p>70747</p> <p>70747の27Mのロ</p> <p>スポーツ・マヤ語</p>	<p>70747</p> <p>極端な人口増加</p> <p>環境は... 貧困削減のため!</p>	<p>ラオス</p> <p>家、田舎、山、川、森林、村、田舎の村。</p>
<p>世界のSOSに身振りかけよう!</p> <p>取って出た国々大変!!</p>	<p>カカオ農園の1児童労働</p> <p>貧困の悪化</p> <p>児童労働</p>	<p>森林保護のチリ</p> <p>森林保護のチリ</p> <p>森林保護のチリ</p> <p>水不足</p>	<p>おぼん</p> <p>森林保護</p> <p>森林保護</p> <p>森林伐採</p>	<p>青い海! 有名な海</p> <p>マヤ語</p> <p>マヤ語</p> <p>マヤ語</p>	<p>人口増加</p> <p>人口増加</p> <p>人口増加</p> <p>貧困</p>	<p>人口増加</p> <p>人口増加</p> <p>人口増加</p> <p>南北格差</p>	<p>人口増加</p> <p>人口増加</p> <p>人口増加</p> <p>不発弾</p>

● **成果4**：SOSをほっておく＝課題を解決しなかったらどうなるか→わかったこと、いえること

- ◇ それぞれの課題の最悪の帰結は死であった。相互につながっているので、1つの切り口に取り組むと解決の糸口となる（例：子どもが学校に行けるようにする）。
- ◇ 切り口は違って最終的に貧困に結びついている。学校に行けない子どもが将来のことを考えられない現状にある。
- ◇ ベリーズに関わらずごみ問題がある。海に流れ出ると地球全体の問題に関わることがわかった。



● **成果5**：地球の持続可能性を阻んでいるものとその根柢にある人々の意識 [構造←意識] (カード分類)

<【構造】挙げられた主なもの>

- ◇消費生活をおおるメディア ◇協調・協力できない国家
- ◇エネルギーに依存 ◇大量生産型産業 ◇24時間営業
- ◇使い捨て型社会 ◇格差社会 ◇20世紀型開発
- ◇教育（環境について）されないこと ◇企業努力の弱さ
- ◇1人暮らし・核家族が増えている ◇直すより買った方が安い
- ◇自国の発展、経済至上主義 ◇情報による世界の画一化

<【意識】挙げられた主なもの>

- ◇面倒くさいという気持ち ◇今がよければよいという考え
- ◇規模が大きすぎると実感が湧かない ◇人間本位の考え
- ◇安さ重視 ◇ゆとりのなさ（多忙） ◇便利さ・欲望
- ◇無関心 ◇見栄・プライド ◇他人事感
- ◇仕方が無いと思う心 ◇消費は美德 ◇キレイ好き
- ◇犠牲になっているものがあることを知らない
- ◇新しいもの・より良いものを求めがち ◇幸せの価値観



● **成果6**：持続可能な社会にシフトするために役立つ情報／価値観／行動（リストアップ）

<【役立つ情報】として挙げられた主なもの>

- ◇商品に付けた環境破壊度数
- ◇問題にある背景・原因
- ◇自分のしていることの影響・つながり
- ◇マスコミの伝え方「今かっこいい！マイ水筒、自転車！」
- ◇農ガール・畑男子などのブーム
- ◇野菜・魚の旬
- ◇おばあちゃんの知恵袋
- ◇安いもののワケ
- ◇新しい豊かさのモデル
- ◇地球・自然の素晴らしさがわかる情報
- ◇現実の現象を撮した映像
- ◇成功例
- ◇JICAでもらった資料

<【役立つ価値観】として挙げられた主なもの>

- ◇「手作業を楽しむ」
- ◇「未来のために行動する」
- ◇「今あるもので満足」
- ◇「地球はみんなの共有物」
- ◇「自分でも変えられる！」
- ◇「忙しく働きすぎるってダサイ」
- ◇「高くても環境に良いものを使った方がよい」
- ◇「経済＝国力という考え」
- ◇「もったいない」
- ◇「他人事と思わない」
- ◇「ていねいに暮らす」
- ◇幸せの価値観
- ◇流行やブランドにとらわれない

<【役立つ行動】として挙げられた主なもの>

- ◇便利生活しない日をやってみる（縄文時代生活）
- ◇キャンドルナイト
- ◇5R（7R）の実践
- ◇やり続ける
- ◇早寝早起き
- ◇書類を減らす
- ◇みんなで過ごす、みんなでする
- ◇環境に配慮した商品の選択
- ◇手づくり
- ◇小さいことからやってみる
- ◇お金ではない豊かさを求める（人とのつながり、やりがい、生き方）
- ◇自然体験プログラム
- ◇旬のものを食べる
- ◇食べ物を残さない
- ◇「マイ〇〇」
- ◇自転車の活用
- ◇リサイクル商品を使う
- ◇買う前に3年以上使えると思えるものを買う
- ◇休む（心の余裕）
- ◇働き過ぎない
- ◇生物を育てる
- ◇my畑を持つ
- ◇メディアリテラシー（企業戦略を見極める）
- ◇テレビは見ない

● **成果7**：貧困の原因となること（ポップコーン発表）

戦争、子沢山、栄養失調、不衛生、家族崩壊、病気、宗教、災害、伝統・風習、政策・国の方針、地雷、教育不足、人口増加、権力、格差、気候、障がい、情報不足、仕事不足、食糧不足、土地がやせている、男女差別、早婚、難民化、水不足、略奪、下水処理不足、低賃金

● **成果8**：1日2ドル以下の暮らし＝貧困はどんな生活か（派生図）

